

1. 幼児児童生徒が意識を失ったときの対応

1. 日頃から留意すべき事項

幼児児童生徒の生命と健康を最優先に、迅速かつ適切な対応を行うことができるよう、組織的な救急及び緊急連絡体制を整えておくとともに、心肺蘇生法等の実技研修を行い日頃からすべての教職員がその手順について理解し、身につけておくことが大切である。

2. 緊急対応のポイント

事故発生・発見

- ・当該幼児児童生徒の症状を確認し、生命維持と安全確保を最優先に、迅速・適切に対応する。（救急処置、救急車の要請、AEDの使用）
- ・養護教諭や他の教職員へ応援を求める。



校長の対応

- ・校長がリーダーシップをとり、状況を正確に把握し、当該幼児児童生徒への対応や保護者への連絡等について、関係教職員へ迅速・適切に指示をする。
- ・事故発生に至るまで及び事故発生からの対応の経過を、できる限り正確、詳細に記録しておく。
- ・学校保健体育課に報告し、対応を協議する。
- ・事故対策本部を設置し、全教職員が協力し組織的に対応する。
- ・状況に応じて PTA、警察、報道機関等への対応を行う。



医療機関での診察・治療

- ・養護教諭等が付き添い当該幼児児童生徒の不安を和らげる。
- ・保護者に対し、経過を丁寧に説明するとともに、保護者の心情を受け止め誠意を持って対応する。
- ・可能であれば、保護者とともに医師からケガの程度や今後の治療について説明を聞く。



保護者への対応

- ・引き続き、誠意をもって保護者との連絡・対応（状況・経過・学校としての対応等）を行う。



PTA等への対応

- ・PTA 会長や自治会長に状況を説明する。
- ・必要な場合は、保護者会等を開催する。

3. 事後の対応のポイント

校園内での事故が発生した場合は、幼児児童生徒等の心のケアを行うとともに、情報を整理し、調査・報告を行い、再発防止につなげる。

